

県では、意欲ある事業者の新商品開発を支援しています。

青森県の商品づくり

① 買ってもらえる商品づくり

県では、「攻めの農林水産業」を重点施策と位置付け、生産・加工・流通販売を結びつけた、農商工連携による「食」産業の充実・強化を図っています。

このような取り組みの中で、県内の生産者や製造者等を対象に、消費者起点の商品、新たな土産品やりんごスイーツなど付加価値の高い県産品づくりを支援しています。今から4回シリーズでこれらの商品について紹介していきます。



問合せ：株式会社ディメール（電話 0178-45-4900）

青森地鶏シャモロックライスバーガー

青森県が長年かけて開発した、見た目が美しく、肉質・食味に優れている地鶏「青森シャモロック」と、粘りが強く、冷めてもパサパサしない、低アミロース米「ゆきのほな」(こちららも青森県が開発)を原料にした県産の材料と技術がギュッと詰まった商品です。

この商品の開発に当たっては、県の「買ってもらえる商品づくり支援事業」を活用し、消費者モニター評価や専門家のアドバイスを受けながら商品化に至りました。

シャモロックライスバーガーは、冷凍した状態で販売されており、電子レンジを使用することで手軽に味わうことができます。県内の道の駅などで販売されています。



消費者モニター評価

南部裂織シヨルダーバッグ

南部裂織の伝統の技法を守りながら、柔らかい織りを採用した新しい商品です。

南部裂織保存会は南部裂織の普及と伝承を目的に設立されました。同保存会は伝統的な作品のほか、現代生活にマッチした作品も製作していくために、専門家や消費者の意見を参考にしようとして、昨年、県の「買ってもらえる商品づくり支援事業」に応募しました。

当商品の製作に当たっては、若い世代にも使ってもらえるよう、色使いやデザインに、首都圏デザイナーの意見を取り入れ、これまでの南部裂織にはない柔らかい織りの斬新なバッグを完成させ、専門家の高い評価を得ています。

当商品については、工房「南部裂織の里」道の駅とわだびあ隣接に一部商品が展示販売されているほかは、受注生産となります。



新商品のシヨルダーバッグ
問合せ：南部裂織保存会 (0176-20-8700)



従来の南部裂織バッグ



総合販売戦略課 ☎017-734-9573

地域の産業を「研究開発」と「技術」でサポートします！

(地独)青森県産業技術センターの取り組み

地方独立行政法人青森県産業技術センターは、農林畜産業、水産業及び製造業にかかわる「研究開発」や、生産事業者のニーズにマッチした「共同研究」、「技術相談・研修」、「情報提供」を通じて、「売れる商品・製品づくり」や「生産と収益の増大・安定」など産業振興の実現に取り組んでいます。

生産事業者の皆さん、お気軽にご相談ください

～このような商品開発を支援しています～

地域と共同で新産業づくりにジャンプ

- 冷えても硬くならない低アミロース米品種を育成！
「冷凍押し寿司」の製造技術も開発。全国に自慢の特産品が生まれました。
- 酒米品種を育成！
新品種にマッチする麴(こうじ)と酵母、醸造技術も開発。オール県産の日本酒が好評です。
- 県産りんごから新たなスパークリングワインを開発！
地場の果実酒産業が創り出されました。
- 珍しい白い稲品種を育成！
色鮮やかな田んぼアートが一層引き立ちます。



特許技術を開発！県産農水産物の付加価値がアップ

- シジミの有効成分を発見！成分増強技術も開発。健康食品が誕生しました。
- ニンニクの加工技術や有効成分増強技術を開発！
サプリメントなど多様な商品が販売されています。
- ホタテとりんごから魚醤油を醸造する技術を開発！
地域の名産品となりました。



研究所参観デーのご案内 技術相談も受け付けます。

月日	研究所	場所
8月27日	農林総合研究所藤坂稲作部	十和田市
9月2・3日	農林総合研究所、りんご研究所	黒石市
9月8日	野菜研究所、農産物加工研究所	六戸町
9月9日	りんご研究所県南果樹部	五戸町
9月19日	水産総合研究所、林業研究所	平内町

(地独) 青森県産業技術センターホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/>

(地独) 青森県産業技術センター企画経営室 ☎0172-52-4311 (代表)